

獨協大学コミュニティスクエア 竣工



2023(令和5)年 3月 13日 竣工披露

学校法人 獨協学園
獨協大学



草加市立松原児童青少年交流センター
miraton

建物概要

住所：埼玉県草加市松原3丁目4番1号
構造規模：鉄骨造、平屋建て
敷地面積：11,665.95㎡
建築面積：1,164.82㎡
延床面積：1,053.94㎡
高さ：8.187m
工期：2022年3月25日～2023年2月15日

設計：株式会社 石本建築事務所
施工：清水建設株式会社



未来につながる

「学術研究・教育活動×地域との開放的な交流の場」として

獨協大学コミュニティスクエアは、「学術研究・教育活動 × 地域との開放的な交流の場」をコンセプトに、自由度の高い第二のキャンパスとして誕生しました。同時期に、草加市立松原児童青少年交流センター（愛称「miraton（ミラトン）」）や東武鉄道株式会社の商業施設「TOBU icourt / トーブイコート」が完成し、獨協大学前〈草加松原〉駅西口周辺エリアの地域活性化に資することが期待されます。

■ 施設概要

コミュニティホールを中心とし、三方を囲むようにワークラボが配置されています。コミュニティホールの可動間仕切りを開放することで、北側のワークラボ3と南側のワークラボ1へとつながり、コンパクトでありながらも開放的な空間として活用できます。

また、コミュニティホールの東側窓面を全面開放することで、ホールから続くテラスとその先の芝生広場までを一体化した空間として利用することが可能です。

3種類のワークラボは、それぞれ目的に応じて部屋を選択でき、北東側のカフェラウンジには調理設備も整えられ、さまざまな活用が期待されます。



コミュニティホール



ワークラボ1



ワークラボ3

■ 環境への配慮

本学が取り組んでいる自然エネルギーの有効活用や低炭素化等の各種環境施策を継承・発展させ、年間のエネルギー収支がゼロとなる建築物 ZEB (Net Zero Energy Building) を実現。本学の SDGs 推進を具現化した建物となっています。

上記の取り組みが評価され、建築物（非住宅）/ 中小規模建築物部門でのサステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）の採択プロジェクトに選出されています。

